

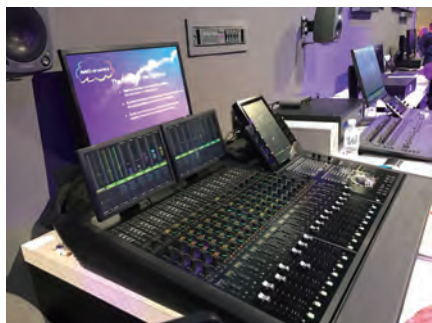
NAB SHOW 2017

出展社概要 ②

Avid

「The Sky's the Limit - 無限の可能性」をテーマに、高いクオリティかつ魅力的コンテンツを制作、多様なチャンネル/デバイスへの配信、さらにコンテンツの価値を最大限に高めるためのクリエイティブ制作ツールやソリューションを紹介。以下のような発表をした。

■戦略的構想「Avid Everywhere」を次の段階に進めるため、統合プラットフォーム「MediaCentral」をクラウドへ拡張展開：クラウドベースの新しいアプリケーション、メディアサービスやインフラストラクチャをオンデマンドで使用できるようになり、クラウドテクノロジーにより促進される、効率性、俊敏性、柔軟性、拡張性をメディア組織に提供する。クラウド革新を継続するため、同社は「Microsoft Azure」をプリファード・クラウド・ホスティング・プラットフォームとして発表し、「Microsoft Azure」をホストとする「Avid MediaCentral Platform」とAvidツールやメディア・ワークフロー・ソリューションのテクノロジー・デモンストレーションを行った。(▼紹介コーナーの写真)



■「MediaCentral Platform」上での新サービス：「Avid Dialogue Search」は、拡張性の高い検索プラットフォーム。同システムを使うと、アーカイブ、メディアアセット管理システム、制作アセット管理システム全体に渡って、話し言葉あるいはフレーズが含まれる該当クリップを検索・特定することができる。一方、「Avid Illuminate」は、キャプション、ビデオ、台本、言語を検証するためのファイルベースの品質保証システムである。

■「Pro Tools HD」およびS6でのネイティブDolby Atmos ミキシング：「Pro Tools」とDolby Atmos の統合がより深くなった。こ

れにより、オーディオ・ポスト・プロフェッショナルは、映画、TV 番組、音楽、ビデオゲームなどの業界で主流のイマーシブオーディオ用フォーマットでの大規模マルチチャンネルミックスも簡単に扱うことができる。

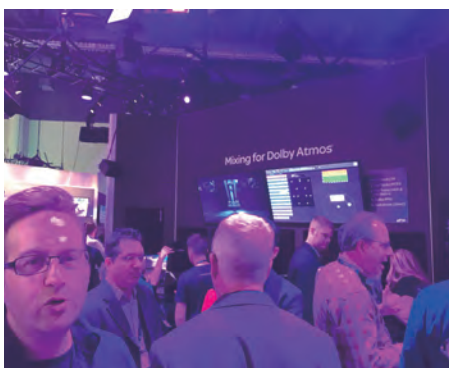
■「Avid Artist DNxIQ」がビデオワークフローを加速：SD から4K の幅広いフォーマットに対応する新しいパワフルなビデオインターフェース「Avid Artist DNxIQ」には、ユニバーサル・マスタリング機能が追加された。コンテンツに対する常に変化するニーズや、より幅広いチャンネルやデバイスに対応することができる。



Avid Artist DNxIQ

Avid Artist ! DNxIQ の後継機となる Avid Artist ! DNxIQ は、視聴者が喜ぶ素晴らしいコンテンツを届けるために欠かせない充実したメディア・サポート、フォーマットの柔軟性とスピードを提供するパワフルなビデオ・インターフェース。Avid Artist ! DNxIQ を使えば、放送やポスプロのプロフェッショナルは、SD、HD、2K、UHD、4K コンテンツを簡単にキャプチャ、モニター、出力することができる。

■業界標準「Media Composer」の無償版「Media Composer First」：メディアのプロを志す人、学生、プロとしてキャリアをスタートさせたばかりの人々も、世界で最も成功している映画製作者やTV 番組クリエイターが使用するクリエイティブツールとほぼ同じ



Dolby Atmos ミキシング紹介コーナー

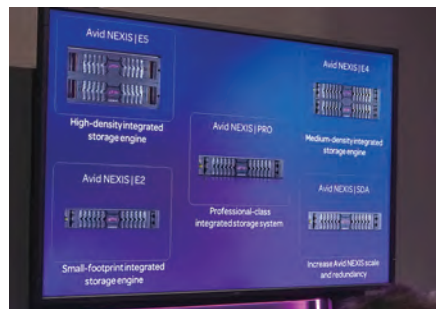


ツールを無償で使用することができる。

■教育機関へのコミットメント：「Avid Media Campus」プログラムは、同社とのより深いパートナーシップ、より柔軟なボリューム・ライセンスや、導入オプションを提供する。これにより、教育機関の、メディアおよびエンターテインメント業界における次世代のクリエイティブ人材やメディアプロフェッショナルの育成を支援する。

■新しい4K/UHD コラボレーション・ワークフローの展示：次世代サーバーテクノロジーを活用した、ライブスポーツおよびニュース制作のための新しいエンド・トゥ・エンドの4K/UHD ワークフローのテクニカルプレビューを展示した。

■インテリジェントなストレージ「Avid NEXIS」の機能向上：「Avid NEXIS」帯域幅の拡張性を向上させ、「Pro Tools」とのワークフローを強化した。クリエイティブチーム間での協業がよりスピーディに、そして効率的になる。



機能が向上したAvid NEXIS の表示画面

■EVS アライアンス・パートナーシップ「Avid MediaCentral UX」の新しいiPLINKにより、Avid ユーザーはMediaCentral 上でEVS メディアを閲覧、検索、取り扱うことが可能に。ライブスポーツ、ニュース、エンターテインメント制作サークフローを向上させる。

ソニー

これまでの枠組みを超えて映像ビジネスの可能性を追求するチャレンジの意志を含めた「Beyond Definition」をテーマに4K映像やハイダイナミックレンジ、IPライブ伝送などに対応した、次世代放送を見据えた新製品を展示し、高画質かつ高効率な映像制作ソリューションを幅広く提案した。

● HDR 映像を、高画質かつ効率的に制作する
新しいソリューションの提案 ●

昨秋以降、スポーツライブ中継などの映像制作領域で、4K HDR の高画質な映像を高効率に制作するソリューション「SR Live for HDR」を推進し、対応機器を広げている。制作用フォーマット<4K-HDR S-Log3/BT.2020>を用いることで、シンプルなシステム構成でカメラ性能を最大限に生かし、4K HDR 映像と HD SDR 映像の同時ライブ制作を実現している。

今年のNABではこの4K HDR 映像制作ソリューションに加えてHD画質でのHDR映像制作ソリューションを新たに導入し、また、制作にかかる時間を短縮してHDR映像制作を実現するインスタントHDRワークフローも新たに提案した。

1. ライブHDRコンテンツの裾野を広げる HD

映像制作対応～機器アップデートにより実現～スポーツ中継などのライブ制作分野では、カメラシステムからサーバー、モニターに至るまで、4K映像制作機器のアップデートにより、HDによるHDR映像制作にも対応。順次今夏までにアップデート対応される。主に、4K放送実用開始に時間がかかることが想定される地域に向けて提案された。同アップデート対応により、スタジオや中継車の制作システムをコンパクトなHDモニター等と混在して運用できるため、4K HDR制作環境の省スペース化を図るソリューションとしても提案した。

2. HDR 映像制作の時間短縮を実現する

ソリューション「インスタントHDRワークフロー」

民生テレビのHDR対応の広がりを受け、インターネットコンテンツやプロモーション、イベント映像などの制作現場でも、HDR映像への期待が高まっている。これらの分野で

はポストプロダクションに時間をかけず、撮影した映像をすぐにHDR映像として活用したいニーズがある。

これらの市場に向けて、時間をかけずにHDR映像表現を実現するソリューションとしてインスタントHDRワークフローを導入する。XDCAMメモリーカムコーダー「PXW-Z150」と「PXW-FS5」のソフトウェアアップデート（無償）により、新たにHybrid Log-Gamma (HLG)収録を実現する。これにより、撮影後のカラーグレーディングなどの編集作業に時間をかけず、手軽にHDR対応テレビやモニターでHDRコンテンツを楽しめる。2017年7月にアップデート対応する。

3. 映画・CM・ドラマ制作分野での HDR 制作
周辺機器を拡充し、運用の効率化を推進

映画・CM・ドラマなどの制作分野においては、高い階調性をもつ16bitシーンリニアデータを効率的なデータサイズで制作、運用できるソリューションとして、同社独自開発の記録フォーマットX-OCN (eXtended tonal range Original Camera Negative)を導入し、CineAlta 4Kカメラ「PMW-F55」での運用を提案している。NAB SHOWではワークフローの効率化を一層サポートする周辺機器として、AXSメモリーカードリーダー「AXS-AR1」や有機ELビューファインダー「DVF-EL200」を発表した。ブースでは、HDRコンテンツのX-OCNフォーマットでの制作ワークフローを紹介しながら、これら新商品を展示した。

4. IP ベースのシステム普及と推進

IPを活用して、制作システム全体の運用効率化と高付加価値の映像制作を実現するソリューション「IP Live Production System」を推進し、対応機器を拡充している。システムのIP化により、4Kでインフラを構築する際、コストやスペース、重量などをスリム化できる他、機材の共同使用（リソースシェ



ア)、遠隔地からの機器操作や映像モニタリング（リモートプロダクション）ができる。

こうした運用の柔軟性に期待が高まり、国内外で、ソニーのシステム採用の動きが進んでいる。今年1月には、イギリスBBC Studio-worksの制作スタジオのリニューアルにあたり、同社のIP Live Production Systemの導入が決まった。中国では、アリババグループの動画制作会社4K Gardenから同社が4K IP中継車を受注し、また、国営テレビ局中国中央電視台に向けて、今後構築予定の4K IP中継車に同社の機材が採用された。日本では、スカパーJSAT株式会社がIPルーティングシステムを導入した。

今年のNABでは、同社ブースとカリフォルニア州カルバーシティにあるソニー・ピクチャーズエンタテインメントの制作スタジオをIPインフラでつなぎ、リモートプロダクションを体感できるデモが実施された。

5. 映像制作の効率的なシステム運用や

映像アーカイブソリューションの提案

ソニーは、柔軟な映像制作システムの運用をサポートすべく、クラウドを活用するソリューションやメディア変換サービスを提案している。今年のNABでは、取材カムコーダーと連携をするクラウドサービス「XDCAM Air」、ゴールライン判定やマルチカメラ映像を収録しコーチングなどに使用できる「HAWK-EYE」など、メディアサービスビジネスの展示を行った。また、映像アーカイブソリューションとして光ディスクの技術と信頼性を継承したオプティカルディスク・アーカイブ第2世代を中心に展示し、映像の大容量化やテープ資産のファイル化に備えた様々な用途で提案した。

6. 新製品、高感度業務用4K対応

ビデオカメラ「UMC-S3CA」

昨年発売した超高感度小型業務用4K対応ビデオカメラ「UMC-S3C」に、新たに複数台カメラの同時運用や外部同期を可能とする機能を加えた新機種「UMC-S3CA」を発売する。多地点からの同時撮影やライブ制作システム等への組み込みも容易で、VR映像制作にも活用でき、多目的の用途で活用できる。ブースでは本商品で撮影したVRコンテンツやマルチアングルの撮影実例も展示した。



池上通信機

同社ブースの8Kソリューションコーナーでは、小型・軽量化により運用性を充実させた 8K カメラシステム「SHK-810」や、独自開発の 8K ポータブルシステムカメラを技術展示し、4K ソリューションコーナーでは 12G-SDI 出力や HD カットアウトなどの機能を充実させた 2/3 型 4K CMOS3 板式カメラ「UHK-430」を展示。HD ソリューションのカメラコーナーでは、2/3 型 CMOS を搭載した UnicamHD シリーズの新製品「HDK-73」を初出品した。

■ 2/3型 4K CMOS 3板式システムカメラ「UHK-430」: 2/3型 4K CMOSセンサ 3板式の光学系を搭載し、Native4Kの高精細と 3板式による高品質な色再現を実現した 4K/HDマルチフォーマットシステムカメラ。深い被写界深度に加え、HDカメラと同様の運用性で、4K映像制作を実現する。

■ 4K対応マルチフォーマット液晶モニタ「HQLM-3120W」: 31 型4096×2160 pixel 10bit の液晶パネルを採用した4K モニタ。3G-SDI×4 の4K 入力に加えHDMI のインタフェースが搭載されている。合わせて、HDR 対応機種も参考出品した。

■ 8K単板システムカメラ「SHK-810」: 日本放送協会との共同開発製品で 3300万画素 Super35mmCMOS単板センサを搭載した 8Kシステムカメラ。

■ 8K ポータブルシステムカメラ: 8K ポータブルシステムカメラが技術展示された。2/3 型レンズマウントを採用し、ラインアップが豊富な2/3 型レンズを使用可能。深い被写界深度を備え、現行のHD カメラと同様の運用性で8K 映像制作を実現する。

■ 2/3型 3MOSシステムカメラ「HDK-73」: 新開発 2/3型 260万画素 CMOSセンサを搭載した HDカメラ。F12の高感度と S/N60dBを実現。HLGガンマカーブによる HDR機能を搭載。UnicamHDの特長であるドッカル機構を踏襲。

■ CMOS HDTVカメラシステム「HDK-95C」: 高性能 2/3型 CMOSセンサを採用

したポータブルカメラ。スミアレスでダイナミックレンジの広い豊かな表現力をい持つ。ソフトウェアのアップグレードで 3Gフォーマットにも対応する。

■ CMOS HDTVカメラシステム「HDK-65C」: 2/3型 CMOSセンサを採用したポータブルカメラ。1080i/ 59.94, 720p/ 59.94に対応し、運用性に優れた高画質システムカメラ。

■ 16-bit HDTVカメラシステム「HDK-55」2/3型 230万画素 AITCCDを採用し、1080/59.94iに対応したポータブルカメラ。光学フィルタ 1枚に電気色温度フィルタを加えた 2層フィルタ構成の普及型システムカメラで、フォーカスアシストなど運用をサポートする機能を多数搭載している。

■ Affordable 1/3型 HDTV 3CMOSカメラ「HC-HD300」: コストパフォーマンスに優れたシステムカメラ。新開発の 250万画素の CMOSセンサを採用し、レンズ色収差補正や、フォーカスアシストなど充実の機能を備える。

■ Super35mmフォーマット HDTVカメラシステム「HDK-97ARRI」

ARRI社とのコラボレーションによるシステムカメラで、Super 35mm COMSセンサの採用により、奥行き感のあるシネマテイストの映像を現行放送で表現することができるほか、広ダイナミックレンジ、高 S/N、高感度を誇る。

■「CCU-980 / BS-98 Hybrid 4K」

現用の HDカメラと組合せ、4K映像を出力することができるベースステーション・カメラコントロールユニット。超解像度技術を搭載し、高精細 4K映像を出力することが可能。高倍率レンズなど既設の HD機材を利用できるので HDカメラシステムの運用性を維持したまま 4K映像制作ができる。

■防振装置用 HDTV超高感度小型カメラ「HDL-F3000」

260万画素フル HDの超高感度カメラ。最低被写体照度 0.0068lxの超高感度で、月明



り程度の明るさでの 1080/60i動画撮影が可能。小型のカメラヘッド/CCUの 2ピースタイプで、防振装置への搭載を想定している。HDTVマルチパーパスカメラ「HDL-57DL」2/3型 CMOSセンサを採用。デジタルエクステンダ、AVC、ATWなど情報カメラシステムでの運用をサポートする機能を搭載したマルチパーパス HDTVカメラ。

■超小型 1/3型 3CMOS HDTVカメラ「HDL-23」: 1/3型 CMOSセンサを採用し、小型・軽量のカメラヘッドを実現した超小型フル HDカメラ。UnicamHDシリーズのカメラコントロールパネル OCP-300/200/10からの制御が可能。

■フル HDウルトラスローモーションカメラ「Hi-Motion II」: 世界各地のスポーツイベントで使用されている株式会社ナックイメージテクノロジー製の最大 1000fpsスロー映像が撮影可能なフル HDウルトラスローモーションカメラ。

■ 4K対応マルチフォーマット液晶モニタ「HQLM-3120W」

31型 4096×2160pixel 10bitの液晶パネルを採用した 4Kモニタ。3G-SDI×4 の 4K入力に加え HDMIのインタフェースを搭載し、高い運用性を実現した。4Kは、Square divisionと 2SIに対応し 12G-SDIの入力も 2ch装備。

■マルチフォーマット有機 EL(OLED)マスターモニタ「HEM-2570W(25型) / 1770WR(17型)」

広ダイナミックレンジ、広視野角、高速動画応答を備えた、有機 EL(OLED)を採用した 25型/17型マスターモニタ。

■マルチプラットフォーム・スイッチャ・システム「MuPS-4000シリーズルータ」

用途に応じて大規模から小型まで構成可能なスイッチャシステム。入力素材、出力素材はそれぞれ最大 144系統で、ルータの全出力に AVDL機能を内蔵。

■コンパクトスイッチャ「CSS-400」: 18入力 9出力のコンパクトスイッチャ。1Uの本体と 2M/E 14釦の操作卓で構成され、操作卓は卓上設置タイプに加え、ラックに実装しての運用を考慮した 2Uタイプ。3G-SDI×4 の信号を使用することで 4K信号処理に対応。



「SHK-810」



「HDK-95C」

テクノハウス取扱い各社

■ **Evertz 社** : IP 関連製品に関して業界をリードするevertzでは、新たなSDVN(ソフトウェアディファインドビデオネットワーク)製品や、プライベートもしくはパブリッククラウドと「OvertureRT LIVE VM」を使用したプレイアウトソリューションの紹介、ビッグデータ分析エンジン「inSITE」、HDR/SDR変換を含む12G-SDI対応製品、IPベースのリプレイシステム「DreamCatcher」、25Gbe対応製品などの展示を行った。



ビッグデータ分析エンジン「inSITE」

■ **AVIWEST 社** : コンパクトな1/2RUの筐体で10bit/422 HEVC エンコーディングと最新のSafeStreamsテクノロジーを組み合わせて、低遅延かつ低ビットレートでIP経由でライブビデオコンテンツを配信可能なUltra HD HEVC ライブエンコーダー「HE4000」やSIMタイプのライブ中継用トランシーバーの最新型「DMNG PRO180+」を展示した。

■ **Ensemble Designs 社** : 手のひらサイズのコンパクトな製品「Bright Eye」シリーズから「NXT9xx」を展示した。1つの筐体で最大4系統のフレームシンクロナイザーを搭載し、横に3台並べることによって、1RUで最大12系統のフレームシンクロナイザーの機能を提供する製品である。

■ **BW Broadcast 社** : 現行のトランスミッターシリーズに加えて、FMトランスミッター「V3」を発表。

■ **DEVA BROADCAST 社** : 新製品のデュアルFMレシーバー「DB4402」他を展示。

■ **Sonifex 社** : AES67対応インカムシステム「AVN」シリーズを展示した

■ **Convergent Design 社** : 4K RAW収録が可能な「Odyssey7Q+」、4つのHD-SDIを同時収録可能な「Apollo」、4K/UHDから



Convergent Design 社「Odyssey7Q+」



Ensemble Designs 社ブース

3つのHDを生成出来る「Titan」オプションを展示した。

■ **Video Clarity 社** : SMPTE2022-6/7に準拠したIPの入出力に対応した画質評価装置「ClearView IP」や記録再生用機材「ClearView Player IP」、最大8つのHDまたは2つのUHD出力を持つ初のエンターテインメント市場向け製品「ClearView Venue Player」などを展示。



「ClearView Venue Player」の表示画面と外観

アイ・ディー・エクス

「DUO-C198」「DUO-C98」: Vマウントタイプリチウムイオンバッテリー。現行モデルから容量アップ、SMBus通信対応、5LED残量表示、マウント部分を照らすLEDライトを搭載したコンパクトバッテリー。

「SB-U98」「SB-U50」: ソニーUタイプマウントバッテリー。D-TAPとUSB出力を搭載し、D-TAP充電器「VL-DT1」での充電に対応している。

「SL-F70」「SL-F50」: ソニーLタイプマウントバッテリー。X-TAP(7.2V出力)とUSB出力を搭載し現在開発中のX-TAP充電器「LC-XT1」による充電に対応している。

「LC-XT1」: X-TAP充電器。7V系バッテリーのX-TAPコネクタから充電できる1ch充電器。

「IRNDフィルター「ALPHA-I」シリーズ」: カラーシフトを極限までゼロに抑えた4×5.65inchサイズ。



neviON Media Gateway to IP

ビデオプロダクション、ビデオ長距離中継伝送、放送スタジオのIP化ゲートウェイ各種インターフェースを取り揃えております。



Virtuoso シリーズ

3GHD-SDI非圧縮、JPEG2000、TICO、ASI、H.264/AVC Media Gateway, IP Aggregation, Monitor...



非圧縮 16 HD-SDI I/O、SMPTE2022-6 IPコーデック + eMerge 10GBEスイッチ・40 GBE データ・アグリゲーション、SMPTE2022-7 SIPS リダンダントバス構成

Flashlink IP シリーズ

非圧縮マルチプレックス SDI
AES 67 IP オーディオ



製造元：
Nevion AS

輸入販売元：
ネットワークエレクトロニクスジャパン 株式会社 ●TEL:03-5542-3260 ●http://www.network-electronics.co.jp

タックシステム取扱い各社

■ **VMC-102** : 同社オリジナルのMADI接続により非常にフレキシブルな対応が可能なスタジオ・モニター・コントローラ「VMC-102」の最新バージョンを発表。



■ **DECIMATOR DESIGN** : NAB 会場にてベンチやサウスホールのストリートサインなど毎年アグレッシブな広告展開をしている蜘蛛のマークのオーストラリアDecimator Design (デシメーター・デザイン)社は、好調なHD-SDI マルチビューワーに新しいラインナップとして従来のMD-QUAD の後継機となるHD-SDI 4入力のマルチビューワー「DMON-QUAD」(税抜き定価¥48,000 予定)、およびミニ・コンバーターの新製品として双方向同時に使用できるHD-SDI/HDMI ミニ・クロス・コンバーター「MD-LX」(税抜き定価¥15,800 予定)と、いずれも意欲的な価格で発表された。



「DMON-QUAD」



「MD-LX」

■ **ADDER** : 現在最も信頼性の高く技術的に先行しているKVM (キーボード・ディスプレイ・マウス)システムを提供する英国ADDER (アダー)社は、高解像度のKVM エクステンダー「XD-522」(税抜き定価¥270,000)の新しいファームウェアの4K 対応および、低価格帯のKVM マトリクス「XD-IP」(税抜き定価¥96,000)を発表した。「XD-IP」は、Infinity シリーズの流れを踏むIP ベースのKVM マトリクスで最大8x8 のマトリクスまでの小規模なシステム化に最適で、マネージメントユニットの必要もなくPOE ネットワークスイッチからの電源供給でシステム構築が可能なコンパクトな設計となっている。また、PC 側に接続する送信側のユニットにもKVM を接続して操作環境がくめ、送信側と受信側の区別がないためシステム変更時に使い回すことができるなどフレキシブルなシステムとなっているため、従来のエクステンダーと切り替え機や分配器といったシステムの組み方に代わり、安定したKVM 環境を自由に構築できるものとなるだろう。

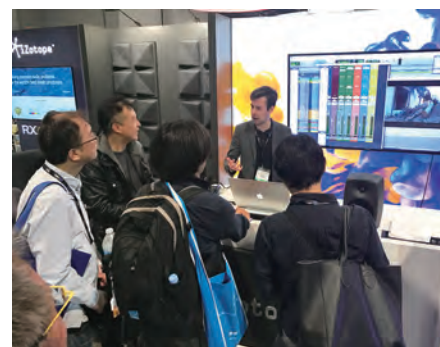
■ **MUXLAB** : ユニークな非圧縮HD-SDI のオプティカル伝送機器を提供するカナダのMuxlab (マックス・ラボ)社は、4 系統のHD-SDI ともう1 系統のスイッチャーなどからのリターン信号を双方向で光伝送する「Model 500734」(価格未定)とIP ベースで4K 非圧縮のSDI 信号を「Model 500734」は、4 系統のHD-SDI もしくは、2 系統の3G-SDI または、1 系統の6G-SDI の伝送が可能となっている。

■ **JL COOPER ELECTRONICS** : 多くのコントローラを提供している米国JL Cooper Electronics (JL クーパー・エレクトロニクス)社は、従来のサラウンド・パンナー「Axos Panner」やEclipse シリーズに加え、ブラックマジック・デザイン社のATEM をリモートコントロールする小型スイッチャー・パネル「Proton」(税抜き定価¥250,000)と同ラインナップの新製品「ion」(価格未定)を発表し、新しい事情の獲得を目指している。ブラックマジック・デザイン社オリジナルのスイッチャーパネルよりも低価格帯でコンパクトな一つの選択肢として市場に食い込む意気込みである。



新製品「H9000」(最上級の製品)

■ **EVENTIDE** : かつてハーモナイザーを考案しデジタル・オーディオ処理の老舗として知られるEventide (イーブンタイド)社は、今年発表されたオーディオの構成を分離して再構築するソフトウェア・プラグイン「FISSION」(税抜き定価¥19,800)やトニー・ビスコンティのいプロデュースによるリバーブ・プラグイン・ソフトウェア「Tverv」(税抜き定価¥28,000)などのソフトウェアに加え、久しぶりに新しいハードウェアのオーディオ・プロセッサ「H9000」(価格未定)をテクノロジー・プレビューとして発表した。「H9000」は、同社「H3000」や「H8000」の後継機種となるもので、MADI やネットワーク・オーディオ・インターフェイスを搭載したマルチチャンネル・プロセスを可能にするハードウェア・エフェクター・プロセッサとなっており、5.1/7.1 といったサラウンド・フォーマットのみならず22.2CHやDolby Atmosなどのマルチチャ



ネル・フォーマットに対応する新しいタイプのプロセッサを目指している。販売開始は、2017 年秋予定。

■ **IZOTOPE** : 現在オーディオレステーション・ソフトウェアとしては不動の人気を誇る米国Zotope (アイソトープ)社の「iZotope RX」がバージョン6 を発表。衣擦れを取る「De-Russle」、吹かれ音を取る「D-Wind」やダイアログだけを抽出する「Dialog Isolate」など再び数々の機能を追加した「RX6」は、NAB では数少ないオーディオ処理ソフトウェアの展示の中で唯一多くの見学者を集めていた。(写真上)

■ **Directout Technologies** : MADI 関連インターフェイスとして、定番となったドイツのDirectout Technologies 社。双方向のMADI サンプリングレート・アップダウンコンバーター「MADI.9648」やMADI to Sound Grid Networkのコンバーター、「TAC System VMC-102」との連携強化などを発表した。



■ **IP SHOWCASE** : IP Showcase は、ネットワーク・ブロードキャスティング・システムの統合を図る多くのメーカーが集まるアライアンスで、ビデオ側のアライアンス「AIMS」やオーディオ側のアライアンス「Media Networking Alliance」が集まり一つの統合ソリューションとしてブースを構えてプレゼンテーションを行うスペースを用意していた。オーディオメーカーでは、ドイツのDirectout Technoplogies (ダイレクトアウト・テクノロジー)社、LAWO (ラボ)社やデンマークのNTP Technology (NTP テクノロジー)社ほかが展示を行っていた。放送設備のビデオ/オーディオ統合ネットワークシステム化は、もう目の前まで来ていることが実感される。

伊藤忠ケーブルシステム取扱い各社



■Facilis Technology

共有ストレージ『TerraBlock』のソフトウェアを一新するVersion 7.0 をリリース。ハードウェア新製品として、既存比最大2 倍のパフォーマンスを発揮する『Hub Server』と、冗長化モデル『8D-R』を発表。

■Lasergraphics

「Director10K」: 35mm ~8mm フィルムに対応し、10K スキャンデータ生成する。カラー及びB&W フィルム対応した3 フラッシュHDR 機能、DICE 機能を使用したディフェクト・マット出力。

「ScanStation」: 35mm ~8mm まで対応し30fps で5K スキャンデータ生成可能。2 フラッシュHDR オプションを参考出展した。「ScanStation Personal」: 従来モデルに加

え5K-16mm/2.5K-8mm モデルを発表した。

「Metastore」: 40GbE対応高速NAS。

■IHSE

「486シリーズ」に SDI Extenderが登場した。LANケーブル1 本で、3G-SDIを140mまで延長する事が可能。更に従来のKVMシステムとの組み合わせで、HD-SDI信号を PCディスプレイに表示したり、PC信号を SDIモニターで表示する事ができる。



エムアイティー

例年通り米国における同社製品の販売代理店であるMarshall ブースの一角にて出展。

製造元であるモガミ電線のケーブルにおける優れた設計・製造技術とも相俟って、定評のある柔軟かつ機械的強度に優れたケーブルや、基礎・基本的な工学技術に於いて同業他社を凌駕する技術情報の蓄積を活かして、同業他社製品と差別化した付加価値の高い製品作りをめざしている。そのため同社製品は日本国内のメジャーレコーディングスタジオはもとより、米国においてもシェアを確保し、



既に著名なスタジオ、ハリウッド、放送局等でも大量に採用されている。

同社ではこのような高度な技術を活かし、今回のNAB においても、イーサネットケーブル、BNC コネクタ付き同軸ケーブル、110Ω AES/EBU デジタルオーディオ・マルチケーブル、吊りマイクケーブル、0.226mm² ステレオマイクケーブル、高解像度チューブ・マイクロホン・ケーブルなどのオリジナル製品を紹介した。

mogami MICROPHONE CABLE

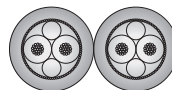
モガミ マイク・ケーブル

#24AWG STEREO MIC. CABLE

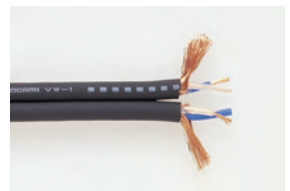
0.226mm² ステレオ マイクケーブル

ステレオ (ペア) で引き回せて、しかも分岐した後の両チャンネルのコアが通常のマルチケーブルよりも太く丈夫なものをという要望に答えて設計されたケーブルで、ドラマ取り等、常にステレオで引き回す場合に便利で、混がらがり減ります。

コア径は 4.8mm で分岐した後の XLR コネクタに接続される片チャンネル単独部分にも機械的な安心感があります。また、導体には OFC を使い、静電容量も通常のマイクケーブル並に低く抑えていますので、音質的にも優れています。



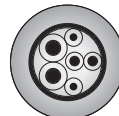
Part No.3106



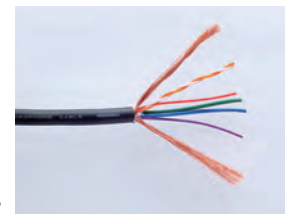
HIGHEST DEFINITION TUBE MICROPHONE CABLE

高解像度チューブ・マイクロホン・ケーブル

代表的なチューブマイクの電源回路を含めた電気回路に基づいて設計された、高音質追求型のチューブマイク専用ケーブルです。ほとんどの代表的なチューブマイクに適しています。



Part No.3172



お問い合わせ エムアイティー株式会社
E-MAIL : mit@mogami.com

PHONE : (03)3439-3755
URL : http://www.mogami.com

CARTONI

Lambda 3rd Axis: Lambda 25 用 3 軸は、まるで球体に含まれているかのような 3 軸回転でのノーダル設定を可能にする。Lambda 25 のカメラステージ用の L 形のフレームを取り外し、間にダッチ軸を挿入することによって、既存の Lambda 25 に取り付けられる。ドリーまたはクレーンでの逆さ吊りに理想的です。1kg の 2 つのカウンターウエイトが含まれる。

Total Dutch: 3 軸横回転を従来の HD パン・チルトヘッドに加える、特許の新しい革命的なツール。驚異的な創造的なショットに先例のない 360° 回転を可能にする。ケーブルを通すために中心に穴のあるステアリングホイールで、回転が引き起こされる。2 つの 1kg のカウンターウエイトが、光軸を回る真のノーダル回転を補完する。

トータルダッチヘッドは、2 本の 3/8" ネジでヘッドの上部に装着出来る製品として、あるいは、Lambda 25 のダッチ軸プラス カメラ・ステージと組み合わせて装着される製品として使える。2000 年に有名なダッチヘッドの基準を設定後、CARTONI は、ダッチアングル構成での極限を作成し、傾けられた角度能力を拡大した。

Master 65: 20Kg から 65Kg までのカメラをサポートするようにデザインされた新しい MASTER 65 は、大きな箱レンズでの屋外のブロードキャストに理想的である。広範囲にわたるカウンターバランス能力を有し、シリコン膜に基づく新しい CARTONI フルイドラッグ・システムでどんなチルト角度でも完璧なバランスを実行する。新しいド



今回の NAB で発表した "Total Dutch" システムは、従来のヘッドの上に L 型フレーム 2 本を装着し、光軸のずれない回転を可能にしたシステム。従来のダッチヘッドに代わる新しいシステムを提案した。

ラッグは、最小値で殆どフリーホイーリングを、長焦点でスムーズ且つスロー動作への安定したドラッグを確実にしている。この堅牢なヘッドは、大きなスライド・プラットフォーム上の標準的なダブテイルプラットフォームが装備されている。スライドのマイクロメートル動作は、スライドの下に置かれている手動クランクで操作される。すべての設定は、人間工学に基づき適切な位置に置かれている。パン棒は、Vinten 付属品と互換性がある。MASTER 65 は、カウンターバランス参照の為にデジタル表示と照明付きアルコールバブルを装備している。Master 65 のフラットベースは、ミッチェルマウントの三脚に装着出来る。ペダスタル及びその他サポートには、4 本のボルトによる固定システム、2 つの 3/4" 溝付ナットまたは M12 溝付セントラルノブで固定可能である。

Smart Stop SDS Tripod: この ENG 軽量三脚は、特に簡易セットアップのために設計されている。特許取得済みのスマートストップレバーのわずか 3 回の操作で、瞬時に 3 段階を調整することができ、どの要望の操作高でもポジティブクランプで固定される。



スマートストップ 3 段三脚は、アルミ又はカーボンチューブで 100 mm ボウルベースを備えている。

ミッドレベルスプレッダーとピボットングラバーフィートで理想的に補完され、類い稀なねじり剛性を備え、ENG やドキュメンタリー用のベストセラー三脚。

Mid-Level SDS Spreader: カルトーニ SDS (スマート展開シリーズ) スマートロック中間スプレッダーは、迅速な拡張及び折畳み能力の為にカルトーニ特許の "No-Bind" メカニズムを特徴とし、独特の 2 ステージ展開コンセプトによるビルトイン・スプレッダー。高性能複合物で作成されており、スマートロックの重量は、わずか 460 グラム。各アームのサイドボタンで 2 ステージが拡張され、同じ動作で押込む事で元に戻る設計になっている。また、本スプレッダーは、クイック・リリース・フックを持つどんな CARTONI DV と ENG 三脚にも合うように設計されている。スプレッダーセンターリングと三脚ベースに取付けられたストラップは、1 つの一回の動きによってシステム収納をスピードアップする。



SDS (Smart Deployment Series) のスマートストップ三脚とスマートロック中間スプレッダー。新たに開発した特許技術の "No-Bind メカニズム" により、三脚の開閉・収納を更に素早く行える様になった。



Master 65 ヘッドは、主に大きなズームレンズを使うシネ撮影、箱レンズを使う放送用撮影に適した、耐荷重 20 ~ 65Kg のヘッド。

パンフレット・カタログ・冊子・ポスター・名刺・封筒・ノベルティ

企画 デザイン 制作 印刷 配布

展示会・内覧会用の小中ロット印刷ならお任せ下さい。

月刊 FDI 発行元
株式会社ユニワールド
電話 03(5376)7233
FAX 03(5376)7246
東京都世田谷区松原 2-34-9

オーディオテクニカ



アナログワイヤレスシステムのフラッグシップモデルを刷新。特定ラジオマイク専用帯の狭帯域(4MHz)において、最大31ch 同時使用を実現したワイヤレスシステムである新製品「6000 Series Wireless」が登場。外来ノイズを遮断するフィルターも搭載しており、混線の対策も充分なされた製品である。(写真左)一方デジタルワイヤレスシステム「SYSTEM 10」も出品。サマーソニックやグラミー賞といった音楽の祭典からオリンピックなどの国際的なスポーツイベント、官公庁や企業の会議室に至るまで、プロフェッショナルな現場での業務用ワイヤレスシステムの経験を長年に亘って蓄積してきたが、「SYSTEM10」は、その確かな技術と豊富な知識が惜しみなく注ぎ込まれた、同社初のデジタルワイヤレスシステムである。(写真右上)その他既存品ではブロードキャスト向



け大口径ダイナミックマイクロホン「BP40」、「System 10 Camera mount/ System 10 family」、「AT 8024 USB Mics」、「Stereo Mics Shotguns/Lavaliers (Handled w/ Fred Ginsburg and his sound cart) Headphones」などを出展した。

リーダー電子

カメラノイズメーター オプション/12G-SDI ジェネレータ オプション/ラスタライザ 4K/HDR オプション/ポータブル波形モニターHDR オプションを展示。4K 波形モニター「LV5490」・シンクジェネレータ「LT4610」・ラスタライザ「LV7390」・ポータブル波形モニター「LV5333」に新機能を搭載など、新オプションにより、機能が充実した製品を展示した。

■「LV5490」:4K 12G/4K 3G クワッドなどに対応したモニターであるが、カメラノイズメーターオプション「LV5490 SER10」を追加して、カメラのSDI 信号に含まれるビデオノイズの測定を可能にした。入力されたSDI 信号から得たデジタルデータをアナログ変換せずにフルデジタル処理でノイズを測定するため、高精度・高安定な測定を行うことができる。4K 対応のノイズ測定は世界初。

■シンクジェネレータ「LT4610」:12G-SDI オプション「LT4610 SER02」を追加し、4K 12G-SDI や4K 3G クワッドでカラーバーや自然画が出力可

能になった。ラスタライザ「LV7390」は、4K オプション「LV7390 SER20」を追加し4K フォーマット

に対応した。3G-SDI のクワッドリンクなど、各種4K 映像フォーマットのビデオ信号に対応している。HDR ゾーン表示、HDR 波形表示も可能。また、操作面では、好評のフリーレイアウト機能が更に進化したエンハンスドレイアウト機能が追加され、任意のチャンネルの拡大表示や全ての表示アイテムをそれぞれ自由に配置することが可能である。

■ポータブル波形モニター「LV5333」:HDR 対応オプション「LV5333 SER02」を追加して展示する。バッテリー駆動可能なポータブル機でHDR ゾーン表示やHDR のスケールによるレベル管理ができる。他に新製品の「LT4610」用チェンジオーバー「LT4448」などを展示した。



▲ 4K 波形モニター「LV5490」とカメラノイズメーター



シンクジェネレータ「LT4610」



ポータブル波形モニター「LV5333」

エスシーアライアンス取扱い各社

■ Telos Alliance

Telos:テレホンハイブリッド、IP コーデック等
AXIA:放送局用デジタルオーディオコンソール AES67、Livewire+ 準拠
Omnia:AM/FM 放送用オーディオプロセッサー、ファイルベースオーディオプロセッサー
Fusion:世界中でコンソール 7,000 台以上の導入実績のある AXIA 社の最新 IP オーディオコンソール



■ Digigram

マルチチャンネルオーディオ IP コーデックとして「I2QYA X/LINK」を NAB で初出展。最大 8 ステレオ ch 対応、各 ch ごとに異なる音声モード、音声フォーマットでの送信が可能。その他 IP コーデック、PC 用オーディオカードが紹介された。

■ ENCO

ネットワークを使用して音声を届けるデジタルオーディオシステム「DAD (Digital Audio Delivery)」

■ Inovonics

FM/AM 放送監視チューナー等。1U ハーフサイズの FM 用オーディオプロセッサー「NOVIA 272」を NAB 初出展。

■ ESE

GPS マスター時計、各種タイムコード関連製品



■ Sierra Automated Systems

インカム、TV 中継車、地デジ音声設備等で納入実績のあるオーディオルーティングシステム

■ BW Broadcast

FM 送信機等

■ Wheatstone

テレビ及びラジオ局向けブロードキャストオーディオコンソール。フルデジタルオーディオコンソールの最新モデル「Dimension Three」を NAB 初出展。